

建設協組news

ライト Light



全京都建設協同組合

Tel.075-382-1021(代) / Fax.075-394-3201
http://www.zenkyoto.jp/ ✉z-kanri@cocoa.ocn.ne.jp
〒615-8165 京都市西京区榎原盆山13-1
発行人：奥村 良一

6 2011.June
通巻477号

HEAD LINE 今月の主な記事

各支部で2011年度総会	11
日頃の心がけが大事	14
建設機械の盗難にご注意	16
日本縦断・頂上セミナー	16
京都で全青中の全国総会	17



2011年度通常総会

確信と希望を共有 / 2011年度通常総会

全京都建設協同組合は5月16日、京都センチュリーホテルを会場にして2011年度通常総会を開催しました。参加した組合員が、組合の新しい時代の歩みを実感する総会でした。

小林博明理事の司会で、総会議長団に尾形良治理事と田中望久御山支部長を選出。資格審査委員に西野広好理事と山本眞司理事を、選挙管理委員に石山孝史理事と松岡雪男理事が選ばれました。書記に真継恵子、岡田妙子両職員を任命。城戸猛司部長から総会議事日程が提案され了承されました。

総会の冒頭、この1年の間に亡くなられた元副理事長の小西幸夫氏、元理事の太田裕康氏、岸本才次郎氏、そして東北地方太平洋沖大地震で亡くなられた方々に対し、参加者全員で黙祷をささげました。川久保雄二郎理事長は挨拶で、歩みが一步一步進んでいることへの確信、さらに歩みが進もうとしていることへの希望を共有することが、総会の目的であると述べました（挨拶の要旨は別掲）。

西野資格審査委員の報告を受けた後、川久保理事長が第1号議案「2010年度事業報告」と「2010年度決算報告」を提案しました（要旨別掲）。事業報告で理事長は、「旧本部会館売却について、銀行の借入金を減らすことが目的とはいえ、組合員の財産を売却したこと、組合員の心の砦を無くしたことを忘れてはならないと思っている」と述べ、銀行借入金の現状や返済の今後についても、その見通しについて言及しました。

決算報告の最後に理事長は、利益処分について、経常利益は6年連続黒字だが、会館売却除去損が出たため最終利益はマイナスになることや前年度繰越利益額が減少したことに触れました。会計監査報告は近藤暢造監事が行いました。

池田光繁専務理事が第2号議案の「2011年度事業計画」「2011年度予算」を提案しました（要旨別掲）。池田専務理事は提案の中で「組合の事業において、特化と脱皮をどう図れるかが今年度最も重要な課題」と力説。予算に関して、厳しい情勢のもと理事会でも売上を抑える意見が出たことに触れながら、個別事業の見通しに少し背伸びを加えた目標額であるとししました。しかし一方、販売管理費は抑えつつ、経常利益ベースでは7年連続黒字に持ち込む構えを表明、名づけて「積極のかつ緊縮」型予算になっていると述べました。

池田専務理事はさらに、第3号議案、第4号議案についても提案を行いました。定款改定について、組合員資格の事業所地区を拡大することで組合員、組合双方の事業拡大のチャンスを増やすことが改定の目的であると説明。また役員報酬限度額につい



2011年度通常総会

では、この厳しい時代に企業経営を必死に奮闘している組合員さんと同じ気持ちで望むことが重要との判断から、300万円の減額をしたと説明しました。

暫しの休憩後、西野資格審査委員から、出席組合員49人、書面議決書188人、計237人、組合員数316人の過半数により総会が成立している旨報告がありました。

再開された総会は、第1号議案から第4号議案までを一括審議し、採決。

第1号議案 反対1 保留0 賛成236

第2号議案 反対1 保留0 賛成236

第3号議案 反対0 保留0 賛成237

第4号議案 反対0 保留0 賛成237

全議案が可決されました。

第5号議案「補欠役員の選出」について、石山選挙管理委員が報告。総会では、新理事に選ばれた吉田明弘部長が紹介された後、2つの「訴え」が読み上げられました。

「東北地方太平洋沖大地震への義援金のお願い」を森広行理事が、「増資のお願い」を光本大助副理事長が総会参加者に訴えました。森理事は自身も福島県出身であり、被災地に親戚がおり心を痛めていることなども話に交えながら訴えました。

京都府商工労働観光部ものづくり振興課課長の小山哲史氏、京都市産業観光局産業振興室課長補佐・経営支援係長の吉武康男氏、京都府中小企業団体中央会事務局長の黒石悟氏が来賓挨拶（要旨別掲）。「秋には京都で国民文化祭が開催。未来への希望の火を灯すものにしたい」（小山氏）、「地震に強い町づくりのプロ集団の皆さんの力を頂きたい」（吉武氏）、「東北で被災した醤油屋さんの再生への言葉『生きる、共に守る、人間らしく』に学ばされる」（黒石氏）などと挨拶がありました。

福島弘副理事長が閉会の挨拶（要旨別掲）で「震災義援金のことと増資のことをお願いしました。ぜひご理解をお願いします」と述べ、総会は終了しました。

総会終了後、萩本勝先生（元平安高校教員）が「寄合いの歴史に学ぶ 日常の中に非日常を作る」のテーマで講演（要旨別掲）。聞き手を魅了するお話でした。謝辞は光本副理事長が行いました。

160人の参加で盛会だった懇親会 4政党から来賓

午後7時から同じ会場で懇親会が開かれました。懇親会には、81組合員企業から99人、来賓38人、職員16人の総勢153人の参加があり、過去最高と思われる参加者・参加率になりました。会場いっぱいの16テーブルに、組合の底力が溢れかえりました。

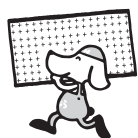
馬場志保子洛南所長の司会で進められ、最初に川久保理事長が挨拶（要旨別掲）。理事長は、「企業経営者である組合員さんの気持ちを汲むことのできる組合」「仕事興しの行動」の2点をしっかり堅持した組合でありたい、と予定時間をオーバーする熱弁。続いて、38人の来賓が1人ずつ紹介されました（別掲）。今年は例年以上に多くの建設関連団体の理事長が参加され、組合の日頃の繋がりを物語っていました。

来賓を代表して4政党から挨拶がありました。

豊・ふすま・インテリア

室内装飾仕上

クロス、表装、床施工、ダイノックシート
ガラスフィルム、障子張り、カーテン
ブラインド、キッチンパネル施工



株式
会社

にしむら

京都府知事認可
(般-14) 4728号

京都市右京区太秦安井松本町22 (三条通り天神川東入ル)

TEL 075 841-4400 FAX 075 811-0339

<http://www.homeservice.co.jp/>

土・建築・製作金物 設計・施工

製作金物の構造計算から作図・設計・施工までいたします。

ステンレス製作金物なら実績ある当社へ御用命ください。

株式会社 **三田**

京都府久世郡久御山町野村東147-2
TEL (075) 631-7833 FAX (075) 631-7857

<http://www.mita036.com>

mita036 検索

「京都経済を支え、発展に向けて奮闘していただいています。私たち議員も少しでもお役に立ちたい」(民主党・田中健志府会議員)、「知事に最も近い議員として皆さんの意見を届けたい。今こそ政治家も民間も一緒に行動を」(自由民主党・尾形賢府会議員)、「政治の在り方が問われている。地域循環型の経済が求められている」(日本共産党・前窪義由紀府会議員)、「こんな時こそ地元の建設業に元気になってもらいたい」(公明党・日置文章市会議員)。各政党とも組合への期待をにじませました。

野原利明顧問の音頭により160人が高らかに杯を掲げました。祝電披露(別掲)と暫しの懇談の後、前進座の木村こずえ氏が来春公演の紹介。辻本秀一監事から組合に対する「辛口一言」もありました。新理事の吉田部長の決意(要旨別掲)、さらに組合員企業の従業員と組合職員の永年勤続表彰(別記)へと続けました。支部活動を活発にするために設けられたポイント制の点数発表と表彰もすっかり懇親会の恒例となりました。

防災時に救助活動を行うため5年前に立ち上げられた「建設救助隊サンダーバード京都」が紹介され、八木幹太隊長が「東北の地震を受け活動を再開する」と、声を張り上げ決意を示しました(要旨別掲)。

懇親会のメイン企画である「職員紹介」が池田専務理事によって始めると、それまで騒然としていた会場の耳目が舞台に釘付け。専務理事は13人の職員一人ひとりを、ユーモアを交えつつ思いやりをこめて紹介(要旨別掲)。「理事長と私を含めた15人が共に考え行動する。組合員さんと共に考え行動する。他業種の方々と共に考え行動する。必ず上を向いて歩いて行きたい」と締めくくりました。参加者の拍手もこの日最大、鳴り止まないほどでした。そしてまた、熱気がこもった懇親が続ききました。

あっという間に過ぎた予定の2時間。しかし、終わらない懇談、消えない笑顔、落ちないテンション、止まらない交杯...。しかし気持ちを冷静にした司会者が、光本副理事長に閉会挨拶を促しました。副理事長が一本締めで締めくくりました。

通常総会での川久保理事長の挨拶(要旨)

組合は今年、創立56年になります。ふりかえると、その40年までは創生期、成熟期にあたると思います。ここまでは問題なく歴史を積み重ねてきたと考えられます。しかし、よくよく考えると、この40年の後半頃から、40年以後の不幸をつくる原因が発生し始めていました。多くの方が、気が付きませんでした。40年から50年の10年間で、「失われた組合の歴史」というのでしょうか、文字通り不幸でした。しかし、それでもまだ気付いていない人が、私たちの先輩にいました。

そして50年以後が組合再生の始まりです。6年経ちました。私はその不幸の10年のことを改めて、とやかく問題にするつもりはありません。もちろん、総括はしなければなりません、悔やんでみても何も生まれませんからです。

316人の組合員さん、中でも今日、こうして通常総会にご出席いただいた組合員さんと職員が、過去のことを承知の上で、未来を信じて、一緒にもう歩み始めていく

お写真のことは
お任せ下さい

竣工写真+α

まずはご一報、お待ちしております。

小幡豊写真事務所

TEL・FAX 075(492)7038

E-mail qqry5wr9@titan.ocn.ne.jp

〒603-8467 京都市北区鷹南南鷹峯町6番地6

宇宙船地球号を
未来の子供たちへ

太陽光発電



監
査
取
付
キ
ャ
ー

太陽光発電 施工実績11年

株式会社 近藤電業社

お問合せ 075-933-6229

(担当 木田)

〒612-8487

京都市伏見区羽束師菱川町336-19

近藤電業社

検索



2011年度通常総会

れているからです。このことが最も大事なことだと思っております。その歩みは、一時的に後退もありましたが、一步一步前に進んでいる。そしてその歩みをさらに重ねていく。進んでいることへの「確信」と、さらに進もうとしていることへの「希望」を共有する。これが本日の通常総会のある意味、目的だと思っております。

懇親会での川久保理事長の挨拶(要旨)

先ほどの通常総会、ご出席いただいた組合員の皆さんで熟議いただきました。そして全議案を採択していただき、2011年度からの組合の歩み方を決めていただきました。有難うございました。

少し感想めいたことを申し上げると、昨年の総会でのことと比べ、少々物足りない感じもしました。やっぱりこの組合は、激しい意見も含めて、ガンガン質疑応答をやらないと、「組合らしくないなあ」という感想です。なんにもないと逆に、本当にあれでいいのか、という気持ちです。

さて昨年、理事長に選ばれてから1年が経ちました。1年間で一番に思ったことは、「経営者って孤独だなあ」ということです。これまでは野原さんに、あるいは理事や組合員の皆さんに泣き言を言ってきましたが、言えなくなりました。少しはひそかにってはいますが、言いにくくなりました。

企業経営者というのはそういうものなのだ、と。だから、組合というのは、そういう企業経営者、組合員さんの悲喜こもごもの心境を汲みとることができる組合でないといけない、ということをつくづく学びました。これが1つ目です。

2つ目は、ビジネスにおける組合の存在です。買い手があって売り手が存在する。その買い手を、どんなふうにして、売り手の方に顔を向けさせるか。また売り手の力量を、どうしたら高められるか。ということです。この点でも1つの組合員企業ではできないが、316の企業の集まりである組合ならできる、このことにもっと必死にならなければならないと思っています。

その点で大事なことは、行政や政治との関係を緊密にすることだと思います。このことの組合の弱さを、改めて認識しました。少し語弊があるかもしれませんが、いつまでも野党ではだめだという意味でもありましょか。新しい法律や施策に機敏に対応する。国や京都府や京都市などへの我々の要望を明らかにする。決してお上から施しを受けることだけではなく、官民で要望の実現をはかる行動です。

もう一つ大事なことは、組合員さんと仕事興しの行動をどうつくるか、です。最近、フリーマーケットを市役所で行いました。また理事会でもこのテーマでの議論を始めています。地震がありました。耐震補強工事も重要です。住宅のリフォーム工事も大事です。これらの仕事興しが課題になってきています。そのためにも、京都にはこういう優れた建設業者がいる、こういう組合がある、ということをもっと消費者へのアピール、発信すべきではないかと思っております。これを組合としてどうするかだと思っています。

2010年度事業報告(要旨)

売上の6億8,219万円をどう見るか。昨年度比114%です。しかし粗利益率は26.3%に下がった。平均利益率に達しなかった建設工事業部が受注した大型物件による。また賦課金を売上から差し引くと、粗利益率はさらに25.2%に下がる。

もう少し細部を見ると、建設工事業部は大型物件が売上寄与したものの、利益では小さい物件が寄与。しかし住宅の新築工事は1件にとどまった。

総合事業部。リース事業においてリーマンショックの翌年、いきなり半分に売上が

落ちた。その後少しずつ回復しつつあるものの元に戻らず。また地震の影響も少しずつ出てきている。問題は粗利益額をどう維持・確保するか。2008年度は別にして、ほぼここ数年、利益額を維持。

文化財事業はよく健闘してきた。しかし2億、3億に安住するわけにはいかない。ここ数年で言えば維持しているが、もう少し過去と比べると大幅に減少。利益率においても薄利商品があるわけで、その克服の課題は引き続き重要。顧客を見ても、新しい市場に進出できていない。

次に組織活動。現在の組合員数は、2010年度に3企業増えて20企業減少して316企業。減り方は小さくなってきているが、それでも2桁。脱退の理由は事業縮小と廃業で、それが近年増えている。なぜ脱退を止められないのか。外的要因は別としても、内部要因としては、やはり組合に魅力がないこと、メリットがないこと。この点は深刻に受け止めている。だから組織活動が大事だ。

組織活動は、支部活動と教育・広報活動の2つ。支部は、昨年統合して15支部から10支部。統合によって支部活動をさらに活性化させる方向。しかし活性化しようとしている支部と、なかなかそうならない支部に分かれてきている。ポイントは、組合員さんの憩いの場とあわせて、仕事に結びつく活動に転換することだと思う。もう1つは本部の教育・広報活動。機関誌『建設協組news Light』の内容が充実した。組合が受け取った情報は原則組合員の皆さんに届ける、事務局で取捨選択はしない、という考え方で編集。同時に組合員さんが誌面に登場する機会を増やした。教育活動は、セミナーを頻繁に開催する努力をしたが、下半期息切れ。しかしこれまでやったことのないテーマ「木造住宅における限界耐力設計技術」をポリテクカレッジの支援を受けて開催。参加者は少なかったが、組合としては有意義であった。

また長年の課題になっていた防災協定もまもなく締結。政策研究会やネット研究会はまだ模索中。

最後に、2010年度で一番に報告しなければならないことは、旧本部会館の売却のこと。この3月に売却の決済。銀行の借入を減らすことが目的だが、組合員さんの財産の売却、組合員さんの心の砦の消滅だったことを決して忘れてはならない。会館売却の目的であった銀行借入の減少は、2009年度の3億7,604万円から3億1,188万円に。目的はその金額による返済だけでなかった。残った借入をどれだけ減らすかであった。まだまだ時間はかかるが、これからそれを進める。（「事業別事業結果」は割愛）

2011年度事業計画(要旨)

まず「はじめに」では、組合員企業と組合を取り巻く情勢や建設業界の現状をどう捉え、どう構えるか。建設投資や住宅着工数は極めて厳しい状況で、どん底。しかし建設業者は必至でがんばっているため、業者数はそれほど減っていない。このことをしっかり捉えないと、生き延びる方向や方法が正確に見出せない。

国や自治体の行政、さらに政治はこの厳しい情勢にどういった対策を打っているのか。たくさんの景気刺激策が出ている。これらの施策の中には、新しい政権による優れたものもあるが、その施策がこの後も続くのか、見守ることも必要。東北の地震によって打ち出してくる耐震に関する施策も、しっかり受け止めていく。要はこれらの施策を、単なる一過性の経済刺激策として利用するだけではなく、企業経営のこれからの柱に据えられるかどうか、ここがポイント。

そこで、組合としての役割はどこにあるかを真剣に考える。まずそれらの施策を学ぶ場をたくさんつくる。その上に立って具体的活用を検討。昨年から少しずつ始めているが、2011年度は機敏に行う。

次に「全体として」では、情勢を、また2011年度の見通しを厳しく見て、計画を立てたいと考えている。建設投資が増えることに期待しない。そのように捉えた場合、



2011年度通常総会

我々は生き延びることができないのでは、という答えになるかもしれないが、そうではない。生き延びる方向や方法をしっかり構築することが、まず第一番。少し古臭いが、やはり地域密着型。それが謳い文句にならないように、独自化（オリジナル）を創造すること。

組合の事業でのオリジナル化。組合は建設業と、文化財も含めたリース業の2つが主要事業。建設業は特化すべき。2011年度は住宅の新築やリフォームをしっかりと安定化させる。マンションの大規模改修工事の分野への方向を具体化。京都市域には1,400棟あり、8万6,000戸で住宅全体の12%を占めている。そして築10年以上が70%ぐらい。豊かな市場。もちろんすでに既存業者が入っているの、どう差別化した組合の戦略・戦術を持つか、組合員さんと協力を得てよく練る。

リース事業の特化すべき点を考えると、顧客対象の拡大。京都府の入札参加企業は、ランクも ランクも50企業ほど。ここへの参入をどうしても図る。これまで営業方針として持っていたが、なかなか行動ができていない。ここを突破する。ここでも競合業者との違いをどうつくるか、が課題。考えるだけに終わらないで、まず足を一歩前に出す。リース事業では、もう1点、脱皮。建設業に限らない市場への進出をなんとかしてでも図る。この脱皮は、先ほどの特化以上に、組合のリース事業を継続していく上で最も重要。当然、多額の投資をしてまったく違うことをするのはなく、リース事業の現在の延長線上での脱皮で。また顧客の中にある潜在的ニーズを開拓すること。

文化財事業のことで言えば、組合の屋台骨としてますます主要な既存事業に。そのためにも、また顧客のニーズが変化する状況からしても、総合調査事業の確立は時機到来。

最後に、組織活動。ここでは、やっと組合の財政安定化が見えてきたことによって、本来の組合の原点ともいうか、メリットを感じてもらえる活動に向かうことができる。そこで一番に考えることは、新しいメリットの構築。まだまだ具体的なメニューが見出せないが、組合員の皆さんのご意見を十分聞いてつくり上げる。（「事業部別の事業計画」は割愛）

懇親会での池田専務による職員紹介(要旨)

建設工事業部

城戸猛司 / 当組合の本道である建設工事業部を引っ張ってくれています。主に設計・代願、そして役員と共に営業活動、冷静な顔の中にある熱い気持ちをぶつけてくれることを期待しています。

河原良樹 / 不器用な男です。その不器用なところが私は大好きです。現場管理の中で彼の現場への熱意そのものがお客様へ届いていると感じています。

総合事業部

吉田明弘 / 屋台骨である大所帯の多角的事業を運営してくれていること、頭が下がる思いです。新理事としてますます頑張ってくれること間違いなしだと思います。

馬場志保子 / 洛南所長として総合事業部次長として、豊富な知識で全事業部を支えてくれていることをいつも感謝しています。

石野優子 / 業務課長としてリース、販売、文化財すべての事務処理を束ねてくれています。彼女の冷静な事務処理能力にはいつも驚かされます。いつも有難う。

谷口弘樹 / 彼の頑張り、文化財事業を筆頭にリース販売まで幅広く支えてくれています。この春から営業課長として、ますます期待しています。

葉狩 勝 / 努力の人。彼の強さ。その中にほんまもんの優しさ。尊敬の一言です。よ

りたくさんの方々に届けてください。

山本敬三 / 年齢50歳にして2時間台でフルマラソンを完走する体力。その強さ、気持ちの粘り強い営業に通ずるものであると、感じてきました。秋までには建設工事事業部の営業課長として異動。古巣でいつも語ってくれる燃え尽きない住宅へのこだわりをぶつけてくれると思います。

森川伸治 / 不器用な男です。しかし決めたことをやりきる心、それが彼の魅力です。昨年2回のフリマの成功は彼の頑張りです。これからも愛される男でいてください。

北川常男 / 彼のバイタリティーにはいつも脱帽です。時には暴走列車のごとくブレーキを、みんなでかけていますが、職員の中で唯一単独で車を走らせ東北の震災の状況を見てきたこと。彼の心意気をみんなも学びたいです。

真継恵子 / 彼女の優しさが、事務代行のお客様を離さないのだと確信しています。これからも皆さんへの細やかな配慮、大切だと思えます。大切にしてください。

福本多香子 / 彼女の仲間を思いやる心、優しさ、常に感謝しています。その優しさを私も感じて頑張れます。

組織部

岡田妙子 / この間の組織活動の変化、『建設協組news Light』の誌面の充実を見ていただいたら、分かっていたのではないのでしょうか。新たな組合の組織活動への原動力、それが彼女の努力から生まれているということ。常に私を叱咤激励してくれる気持ちに感謝しています。

今年度は、私の目標としてこの厳しい時代を生き残るためには、3つの大切なものがあると考えました。「競争」営業力の強化、新しいものを見つけ挑戦する。「我慢」この厳しい経済情勢、震災からの影響、これに耐える行動・体力・努力。「共存・共生」そして一番大切なこと。共に考え、共に行動するです。

同じ志を持ち、この組合に集まった職員。まだまだ、頼りない、物足りない、弱い。組合さんにはいつも叱られることが多々です。しかし、理事長、私を含めた15人が共に考え行動する。組合員さんと共に考え行動する。他業種の方々と共に考え行動する。何が何でもやりきる気持ち。いつも支え応援していただける皆様と一緒に職員一同、必ず上を向いて歩いていきたいと思えます。

萩本勝先生の講演要旨

学校の入口をお茶室の心に例える「市中に山居す」、居酒屋ののれんに例える「学校と縄のれん」、一揆の本質と寄合いとの関係に例える「寄合と一揆」 3つのテーマから日常の中の非日常を考える。

「市中に山居す」 まず茶室や学校、そして組合。どの世界でもルールが存在すること。そしてその入口が日常と非日常の境目であること。そしてルールは義務であること。茶室に入る時は武士も刀を置く。入口が低く作られているのは皆が頭を下げ、その茶室の主人に対して礼をもって入場するため。主人、客人皆が茶室の中では平等であるというルールが確立されている。そして主人は客人に最高のもてなしをする。

「学校と縄のれん」 ルールに対し、より深く、すべての客、学生にとって負わされるべき義務であるということを強調している。学校で制服を着ているとき、居酒屋で酒を酌み交わしているとき、すべての人々がその中では平等である。平等にルールを守る。それが義務であり、譲り合いを寄合いの中で自然に学ぶ。皆が平等で皆が譲り合う、その中で自由に語り合う。

「寄合と一揆」 一揆の揆とは計画という意味がある。その計画は自分たちで決め、



2011年度通常総会

自分たちで守る。自分たちが決めたことだからこそ自分たちが守る。室町時代、桂川の水を、水が少ない地域の3つの村が力を合わせて給水設備を整えた。大切な水だからこそ、村は異なれど、勝手なことをすることなく皆で守る。それを守れないものには容赦なく給水を止めるという厳しいルールを決めていた。ちなみに、久世、河嶋、寺戸氏3人の姓は、現在当組合本部の近隣にある久世、川島、寺戸という地名として残っている。寄合いとは非日常の場を意識的に作り、平等を保障し合い平等を貫く運動体である。これはまさしく協同組合ではなかろうか。日本には昔からこのような素晴らしい意識が存在したこと。そして現代も存在する。この困難な時代だからこそ団結し、考え行動しなければいけないのではないか。

来賓の挨拶(敬称略)

小山哲史 (京都府商工労働観光部ものづくり振興課課長)

中小企業を取り巻く状況は、急激な円高もありますし、また企業が海外に進出する、コストが削減されるなど大変厳しい状況が続いています。またそれに輪を掛けて、今回の震災で将来に向かって大きな不安要素が広がっているような状況です。そのような中で、皆さんの組合は異業種の建設業の方々が集まり力を合わせて、協同という大きな力を持って業界をリードしてもらっています。京都府としてもそのような皆さんをご支援するために、京都府の中小企業の制度融資とか、経営相談機能の拡充などに、改めて強く取り組みを進めていきたいと考えています。今回の震災で、経済社会というものはお互いに結び合い、支えあって成り立ってきていると気づかせて頂きました。秋には京都で日本最大の文化の祭典である国民文化祭が開催されます。京都からほんまもんの文化を発信して、少し元気がなくなってしまった日本ですが、ここから未来に向かっての新しい希望の火をともしただけであれば有り難いと考えています。

吉武康男 (京都市産業観光局産業振興室課長補佐・経営支援係長)

京都市の企業に対する影響調査では、建設業主では86%が資材が入らない、81%が価格の高騰に不安であるという結果を得ています。皆さんの中でもコンパネがないとか電線が入らないという品薄の状況で、価格はどうなるのかという不安を持たれていると思います。経済活動においても受注の減少、売掛の未回収、観光業、サービス業などにもかなりの影響が出ています。京都市においては、制度融資額の枠内で、京都府と協調で補正予算の要求、またそれ以外にも中小企業への専門家の派遣、京都を元気にする観光事業への情報発信であるとか、309億円の補正予算を議会で審議してもらっているところです。建設業に携る皆さんは地震の多い日本にあって、地震に強い町づくりを担うプロ集団であると思っています。皆さんの力を携えながら頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

黒石 悟 (京都府中小企業団体中央会事務局長)

被災地においては、実際に被災に遭われた商工業者の方が、復興を目指して立ち上がるニュースを目にします。その中で岩手県の八木澤商店をご紹介したいと思います。そこは工場から店の歴史、醤油を作る酵母菌まで失われました。3月22日の前の日に商工業の仲間の方から金庫が流れていたことを聞かれ、探しに行かれて幸いにも見つけ出されました。その中には会社の実印や歴史記録とかが入ってたということです。また、ホームページに最初に載せられた、「八木澤商店従業員の皆様へ」という言葉の中には、「生きる、共に暮らしを守る、人間らしく魅力的に。この3つの言葉が今後の再生のキーワードです」とありました。4月1日に新任社長は「いかに危機的な状況においても、今後経営の最高責任者として社員の意見に耳を傾け協力を仰ぎながら、全責任を背負う覚悟で再建をしていきます。その上で、変えることの出来ないこ

とを受け入れる心の静けさと、変えるべきものを変えていく勇氣。その2つを見分ける叡智を養う事を大切にしていきます」と挨拶の言葉にあります。5月2日には震災後、初の積荷をして、お客様に向けて発送されました。人と人の組織には、この中にたくさんの学ぶことがあるのではないかと思います。私も原点に立ち返り、中小企業の皆さんの役に立てるために、中央会は何を成すべきかを考えたいと思います。

福島副理事長の閉会の挨拶

組合員の皆さん、いつも有難うございます。総会も無事に終了しました。これもひとえに議長と組合員のご協力の賜物だと思います。また、震災のこと、さらに増資という2つのお願いをしておりますが、理解を賜りまして、ぜひよろしく願います。これで、2011年度の通常総会を閉会致します。有難うございました。

吉田明弘新理事の懇親会での挨拶

私がこの組合にお世話になって20年。人生の半分をこの組合で過ごしてまいりました。その中で多くの方々との出会い、学んできましたが、まだまだ学ぶべきことがたくさんあります。この厳しい情勢をのり越えるため、失敗を恐れず、前へ前へ突き進んでいきたいと思っておりますので、皆様のお力添えとご指導を頂戴して、今後も組合のために精一杯頑張ってまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

「建設救助隊サンダーバード京都」八木幹太隊長の挨拶

私たち「建設救助隊サンダーバード京都」は、組合員さんやそのご家族・従業員の有志で構成し、いざ地震の時などの自然災害が発生したら、建築・土木等の技術を生かして救援活動に参加しようということで5年前に結成しました。皆さんもご存知かもしれませんが、映画村で開催された50周年記念イベントで華々しくデビューしました。でもその後、開店休業状態が続き、5年ぶりに少人数ですが再スタートすることになりました。今のところ短期的スパンの活動では、救援・復旧活動の検討をしています。中・長期的スパンの活動計画では、京都での地道な防災意識の啓蒙活動などを検討しています。隊の目的の明確化、中核となる隊員の組織化が十分でないため今後具体化を進めることにしていることをご報告致します。

懇親会来賓名簿(敬称略)

京都府商工労働観光部ものづくり振興課課長 小山哲史 / 京都市産業観光局産業振興室課長補佐・経営支援係長 吉武康男 / 京都府中小企業団体中央会事務局長 黒石悟 / 自由民主党京都府会議員 田中健志 / 自由民主党京都府会議員 尾形賢 / 日本共産党京都府会議員 前窪義由紀 / 公明党京都府本部副代表・京都市会議員 日置文章 / 講演会講師 萩本勝 / タカタ総合法律事務所弁護士 高田良爾 / A t a G o 税理士法人 内林義和 / A S A H I 行政書士法人代表 大山治寿 / 株式会社京都建築事務所常

■**労働保険** 雇用保険と労災保険をあつかう事務組合としての認可。委託事業所(組合員企業)は保険料の分割ができる特典があります。また、役員の特別加入もあり、万が一のときも安心。府下最大級の事務組合として、国からも一目をおかれています。

■**入札** 国や京都府、京都市などの競争入札のはんごつな参加申請の代行。更新、変更届けも。

■**決算変更届け・経営分析・経営事項審査** 入札にかかわる事前の一連の申請手続きも。

■**建築士事務所登録** 一級建築士事務所の場合は登録料が1万5千円。二級建築士事務所は、1万円。

利用すれば
するほど
値打ちある

建設協組の

事務代行

初めての方も
お気軽にご相談下さい

■**建設業許可** 一般建設業の新規取得の場合は、申請料9万円。要件は経営業務の管理責任者(代表者5年、番頭7年の経験)、技術者(資格者10年の経験)が必要。さらに、財産的基礎(500万円以上の残高照明)や登記関係書類、府事業税、住民票などの書類が必要。更新の場合は、更新料5万円で期間は5年。特定建設業の場合は、別途要件があります。

■**宅地建物取引業申請** 取得料3万3千円。協会加入費や協会評議員2名の推せんが必要など。

■**その他** 経理・記帳事務も外部専門家とタイアップ。5千円/月からおつだい。各種助成制度の申請や自動車保険、生命保険、損害保険、健康保険(個人企業)もとりあついています。許可などの看板の作成も。



2011年度通常総会


務取締役営業部長 蓮佛洋 / 地域に根ざす設計舎TAPROOT取締役 蔵田力 / 京都土木協同組合代表理事 植田重男 / 京都府電気工事工業協同組合副理事長 藤井正 / 京都府瓦工事協同組合理事長 松田等 / 京都府鳶工業協同組合事務局長 榎本洋一 / 京都府商工団体連合会会長 伊藤邦雄 / 全京都建築労働組合副委員長 北村喜義 / 建設コープおおさか理事・事務局長 仲満彦 / 社団法人全国中小建設業協会全中建京都事務局長 井藤忠 / 京都府労働保険事務組合連合会専務理事 安田平三郎 / 京都高齢者福祉事業団理事長 岡本康 / 西尾レントオール株式会社京滋営業部部長 富尾義彦 / 西尾レントオール株式会社京都営業所所長 中田彰 / 高石機械産業株式会社常務取締役 吉田栄次 / ダイワ産業株式会社営業課長 中道幹雄 / SRGタカミヤ株式会社京滋営業所所長 名倉賢一 / 有限会社システムケイコー営業部長 尾野隆樹 / 日本機材産業株式会社京都支店支店長 北村康匡 / 株式会社DJ代表取締役 福井文雄 / 株式会社さかんしコム執行役員 永田博紀 / 株式会社さかんしコム企画営業部 佐古田宗幸 / 新日本プロセス株式会社営業部長 小林信之 / 三井住友海上火災株式会社石橋隆介 / エムズスタッフ 磯村美智子 / 株式会社サンキョーワークス代表取締役 土屋光司 / 株式会社全京都ハウジング代表取締役 藤井信次

永年勤続・優良従業員表彰(敬称略)

永年勤続・優良従業員表彰を受けた組合員企業および組合職員は次のとおりです。
 組合員企業 (5年) (株)にしむら 石田克伺、(株)にしむら 坂入祐太
 " (10年) (株)にしむら 中村佑介
 組合職員 (20年) 吉田明弘・総合事業部部长、馬場志保子・総合事業部次長
 " (25年) 真継恵子・総合事業部事務代行

総会に寄せられた祝電・メッセージ(敬称略)

民主党 内閣官房副長官 参議院議員 福山哲郎
 民主党 衆議院議員 前原誠司
 民主党 衆議院議員 北神けいろ
 民主党 衆議院議員 豊田潤多郎
 民主党 衆議院議員 平 智之
 民主党 衆議院議員 泉ケンタ
 日本共産党 衆議院議員 こくた恵二
 日本共産党 参議院議員 井上さとし
 京都民主医療機関連合会 会長 尾崎 望
 株式会社商工組合中央金庫京都支店 支店長 芳原邦光

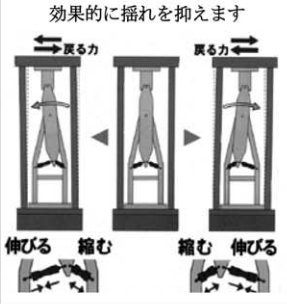


QTダンパー
クエイ・テクノ

新築・耐震リフォームに
木造住宅用制振ダンパー

新発売

効果的に揺れを抑えます




効果的に揺れを抑えます

揺る力 → 揺る力 → 揺る力

伸びる 縮む 縮む 伸びる

□営業内容

- 建築・土木構造物の調査・診断・設計業務
- 建築・土木構造物の補修・補強工事
- 重要文化財・木造建築物の補修・強工事
- マンション・ビル大規模改修工事
- 耐震補強工事
- 建物の新築・リフォーム工事
- マンション・ビル管理業務



石山テクノ建設株式会社
一級建築士事務所

〒604-8411 京都市中京区聚楽廻南町1番地
TEL (075) 822-4377(代) FAX (075) 803-0417

<http://www.ishiyama-techno.co.jp>



協同組合Notice

各支部で2011年度総会

右京支部

春風に桜の花びら舞い散る4月23日、京都全日空ホテルにて支部総会を開催。出席者は10人でした。

ここ数年、支部組合員の脱退が続くなど支部活動の停滞が問題となる支部が多いなか、右京支部は役員会の開催を定例化。例会も創意工夫をこらし、多くの組合員さんの参加を得ることができました。新たな魅力の創出によって地域に根ざした活発な支部活動ができるように、支部長を先頭に、役員と組合員が一丸となって頑張ってきました。

新年度は、日頃の業務に役立つ勉強会・意見交換会など、新たな取り組みも模索していきます。組合員の減少に対する危機感も強いことから、組合員拡大に向けて取り組むことは当然ですが、現在加盟されている組合員企業の脱退を防ぐために具体的な手立てを打つことこそが急務であるとの提言もありました。他支部との交流の機会を積極的に持ち、さらなる支部の活性化に努めていきます。

総会の後、別室にて懇親会を開催。22人が参加しました。「役員とともに支部を盛り上げていく」との支部長挨拶があり、乾杯の後、参加者みんなで楽しいひとときを過ごしました。
(谷口弘樹)

桂川支部

4月26日、大覚寺近くの「一休」にて総会と懇親会を開催しました。参加した組合員さんは4人。4年前の総会が14人だったので、少し寂しい人数ではありました。

総会後には懇親会が和やかな雰囲気の中行われ、どうすれば支部の活動に多くの組合員さんが参加していただけるかという話題になりました。「担当職員・役員のメンバーで組合員廻りをしよう」「久しく行っていない例会を開催しよう」「新しい企画、例えばゴルフ、釣り、バーベキュー、ハイキング、旅行...など、とにかく、まず実行しよう」など前向きな意見が出されました。

例会の目的は、組合員さんと支部活動との接点を増やすということです。支部活動はいま危機的状況にありますが、この状況を乗り越えるべく、新年度は頑張っていきたいと思っておりますので、桂川支部組合員の皆様、何卒よろしく願いいたします。

「支部としてこんな活動をしてみては」というご提案がありましたら、役員会の議題とさせていただきたいと思っております。支部担当の森川 (Tel.075-392-0722) までご連絡をお願いします。
(森川伸治)

北山支部

4月15日、アピカルイン京都にて支部総会を開催。組合員10人、職員2人の参加でした。光本副理事長の挨拶に続き、2010年度の活動報告と会計報告、2011年度の活動案と予算案、さらに役員についての提案がありました。それぞれ全員一致で承認されました。新支部長が「北山支部から他支部へ向け合同役員会、合同旅行会などの発信を行い、組合全体を盛り上げていきたい」と挨拶。参加者全員で意思統一しました。総会後の親睦会の席でも、旅行や例会の開催へ向け、さまざまな楽しいアイデアが飛び交いました。企画倒れに終わらず、ぜひとも実現させたいものです。(山本敬三)

洛中支部

4月15日、39人の大所帯となった洛中支部として初めての総会を京料理八清にて開催。本人出席12人、委任状出席21人でした。議長に(株)吉澤商店の前川氏を選出。越前谷支部長、川久保理事長の挨拶に続き、2010年度の活動報告とまとめについて議論。



協同組合Notice

さらに収支決算報告と監査報告を行いました。続いて2011年度の活動計画案と予算案を検討し、満場一致で決定。新年度のスタートを切りました。

2011年度は役員改選がなく、越前谷支部長を中心に新年度も引き続き活動していくことを確認しました。

総会後の懇親会では、なごやかに歓談し、互いに交流を深めました。その盛り上がりの中、「支部長を先頭にして、今年は何かをやろう」という勢いある意見が出るなど、話題が盛り上がりました。「いつもの納涼例会に代えて、今年は支部親睦旅行を」ということで落ち着きました。現在、計画中です。(福本多香子)

新京(しんみやこ)支部

4月8日、「京料理 麩屋町 左近太郎」にて支部総会を開催しました。支部役員を中心に本人出席8人、委任状出席19人、役職員3人の参加でした。

昨春、南支部と東山支部が統合して誕生した新京支部ですが、統合というスケールメリットが支部運営の面でも生かされています。従来に比して役員会・例会の参加者が増え、昨年度は8回の役員会を開催しました。これまであまりつながりのなかった両支部の役員が、コミュニケーションをとり、親睦を重ねてきました。

総会では、八木副支部長、川久保理事長の挨拶に続き、活動の報告と方針の提案、決算と予算について討議しました。新年度は、支部の役員会を定例化し、毎月開催を目指します。畑支部長が閉会挨拶をし、総会は無事終了しました。

懇親会では、コンパニオンも交えて楽しく談笑。東日本大震災に関連した話題になり、支部役員の有志からは「自分でダンプを運転して、救援物資を届けたい」という要望も出され、その実現へ向けて事務局サイドで調整していくことになりました。(北川常男)

伏見支部

4月14日「車屋」にて支部総会を開催。理事長の挨拶に続き、活動方針や決算の報告などがありました。2011年度は役員改選を行わず、昨年度と同様の体制を決定。支部長からは活動方針で、新年度は積極的な意見を出し合い、より一層多くの組合員が参加できる企画を立案して、親睦と交流を深め、支部の活性化を図るという提案がありました。また、洛西支部との支部統合については、合同役員会や例会を開催して交流を深めてきましたが、統合には至らず、新年度への持ち越しとなりました。

懇親会では役職員やコンパニオンを含む15人が参加。おいしい食事やお酒の力も加わり、にぎやかで楽しい有意義な時間を過ごすことができました。(吉田明弘)

洛西支部

4月27日、大原野の千弥農園を会場に支部総会を開催しました。城戸部長の開会挨拶に続き、議長に福島氏を選出。山口支部長の挨拶のあと、2010年度の活動報告、懇親会へと順序よく運ぶことができました。これも皆様のおかげと感謝しています。有難うございました。また新年度も支部長という役を仰せつかり、心が引き締まる思い



DJ的IT講座③

「ムーアの法則」の未来

世界的な半導体メーカーのインテル社が「3次元トランジスタ [Tri-Gate (トライゲート)] を使った世界初の22nm (ナノメートル) マイクロプロセッサの量産化を年内にも開始する」というニュースが流れました。

コンピュータの心臓部にあたるマイクロプロセッサの高速化は頻繁に行なわれ、別に驚くことはないのですが、今回は「3次元」という言葉に反応してしまいました。

今日の「コンピュータ時代」を予測した指標のひとつに「ムーアの法則」があります。1965年にインテル社の共同創業者ゴードン・ムーアが著した論文から「コンピュータチップは2年毎に倍の速さとなり価格が低下する」という法則が言われ、長らくその通りに推移してきたのですが、近年そのスピードが落ちて「限界説」が出ていました。

「3次元」はその限界をブレイクスルーする技術です。

メディア・コンサルタント 福井 文雄
(株式会社DJ代表取締役社長)

でいっぱいです。

昨年度は役員会を毎月開くことができず、次年度に課題を残すことになりました。2011年度は新役員とともに新たな気持ちで役員会を開催し、組合員同士が積極的に意見交換し、組合員と職員が一体となって、組合の発展に向けて何が必要かを常に考えます。組合の先を見つめ、組合員のつながりを大切にして、一人ひとりのコミュニケーションを重視した組織づくりを願っています。また仕事確保にネットを利用するなど、組合員の皆さんには専門家として良きアドバイザーになっていただき、一般のユーザーの掘り起こしができればと考えています。(支部長 山口勇)

宇治支部

連休前の4月28日「竹林 本店」にて、本人出席7人、委任状出席13人で支部総会を開催。近年は総会に出席される方が少なくなっていますが、昨年より1人多かったこと、支部役員以外の方の出席もあったことなど前進面もありました。2010年度は、3支部合同の取り組みへの参加者が少なかったものの、すべての取り組みに参加してきました。支部独自の取り組みは、年間3回の役員会のみで終わってしまったことを反省し、2011年度は支部独自の例会を含め、少しでも多くの方に参加していただけるような取り組みを行いたいと思います。(馬場志保子)

久御山支部

4月15日「うを梅」にて、本人出席4人、委任状出席11人で支部総会を開催。2010年度の支部活動報告では、ソフトボール大会での支部長をはじめとする皆さんの頑張りを称えました。何年ぶりかで多くの選手が集まった昨年は3位入賞、優秀選手賞の受賞というかつてない快挙を果たしましたが、特に支部長は、久御山支部だけでなく、当日欠席が出て選手不足の宇治支部にも助っ人に入るなど、誰よりも多くの試合に出場するという頑張りを見せてくれたためです。「今年度は2チームをつくろう!」という元気な声も飛び出し、「2011年度のスポーツ費の予算が少ないのでは?」との意見も出されました。2011年度はスポーツに力を入れる久御山支部になりそうです。(馬場志保子)

洛南支部

4月22日「だいや」にて、本人出席11人、委任状出席18人で支部総会を開催。城陽支部と木津川支部の統合により「洛南支部」が誕生して丸1年。洛南地区は現在、宇治・久御山・洛南の3支部がありますが、この3支部が将来1つになることを見据え、昨年度、宇治と久御山の支部長さんをはじめとする何人かの方からご意見をお聞きした上で「洛南支部」と命名させていただきました。

昨年度と同様に2011年度も、3支部合同による取り組みを重ねていく中で、統合についての協議を進めていきたいと思っています。(馬場志保子)

お買い得商品のご案内 / 総合事業部

ラチェット剪定鋏 (GF-D200AR) 1,080円

庭木の枝 (直径20mm程度が目安) の剪定や園芸の採果作業、盆栽・細枝の剪定に最適です。

ダイヤモンドハンドシャープナー (全長270mm) 1,080円

粒度 # 400のX-2704と粒度 # 800のX-2708の2種類があります。刃物類の研ぎやサビ落としに便利。大変お得です。

ポリカ波板 (6尺・7尺・8尺・9尺・10尺) 尺当り200円

(30枚以上お買い上げの場合)



協同組合Notice

ブロンズ、ブロンズマット、クリアの各色を取り揃えています。

差筋アンカー (D10×450ワンタッチ型・ツメ有り)	2,400円 (1箱50本入り)
(D13×600ワンタッチ型・ツメ有り)	3,600円 (1箱30本入り)
(D13×600・ツメ無し)	3,000円 (1箱30本入り)

4箱限り

2箱ご購入で打込み棒付きとなります。

土間シート (厚0.15mm×2m×50m) 2,350円

大変お買い得です。

【ご注文・お問合せ】洛南事務所 Tel.0774-45-3610 Fax.0774-45-3620

日頃の心がけが大事 / 建設工事事業部

建設業界にかかわらず、世間一般でも、日頃さまざまなクレームやトラブルが起きている。誰もかわりたくはないものです。本人のちょっとした油断のすき間から、突然に燃え上がるクレームの火種。

例えば工事現場でのふとした独り言や何気ない失言が、それを小耳にはさんだ建築主には心のしこりとなって残ることがあります。建築主にご満足いただき、早く仕事を引き渡すためにも、現場での管理徹底と、工事現場に携わるすべての者の気配り・心づかいで、仕事を進めていくことが大切です。

また、現場周辺に駐車スペースがないときなど、やむを得ず近所のコンビニにしばらく駐車し、建築主宅を訪問したり現場業務をしたりすることもあると思います。しかし、店には買い物客の出入りがあり、営業の妨げになることや、その車輛の所有者がどこへ行ったかという不安感・不快感を店員や買い物客に与えることがあります。面倒でも、多少遠くても有料駐車場を利用する心がけが必要ではないかと思います。建築主に快い満足を与え、よりよい仕事につなげていくためにも必要だと思えます。

(河原良樹)

年中、多彩な催しが / 文化財事業

今回はいつもと少し趣向を変え、(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館が主催する催しについて紹介させていただきます。

十条通りの拡幅工事に伴う発掘調査で、これまで実態が不明だった伏見人形の焼成窯が検出され、多量の伏見人形や泥メンコの土型が出土しました。これらの発掘成果を広く市民に紹介するため、速報展「本町下高松通出土伏見人形の土型」が京都市考古資料館で開催されました(5月15日で終了)。ここでは実際に出土した土型を使った型抜きなども体験できるなど趣向を凝らした催しが大変好評でした。子どもから大人まで老若男女問わず、色々な催しに参加することで、新しい発見をすることが多々あると思います。また、歴史に対する考え方が変わったり、束の間、心の休息にもなると思います。参加費も無料の場合が多いようです。

時間が空いたときなど、次に紹介する催しなどに、一度参加されてはいかがでしょうか。

7月28日(木)	祭祀土器作り
9月(日時未定)	スタンプラリー
10月1日(土)	古代の祭祀体験
11月(日時未定)	第2回史跡ウォーク
2012年3月(日時未定)	第3回史跡ウォーク

上記の他にも、京都アスニーでは毎月のように文化財講座が開催され、(財)京都市

埋蔵文化財研究所の調査員の先生方が市民向けに、分かりやすく退屈させない講義をさせていただきます。今回は京都市ですが、他団体の催しについても機会があれば紹介させていただきます。(谷口弘樹)

組合員事業紹介

企業名 西村工業株式会社
所在地 京都市北区上賀茂竹ヶ鼻町6
代表者 代表取締役 西村悦男
設立年月日 昭和45年6月
事業内容 管工事業

《事業所PR》会社法人成立前から数えると、京都の地において50年間、水道工事業を営んでおります。伝統や文化が長らく継承されている京都といえどもこの50年間、水洗化など水道事業の移り変わりやニーズの多様化は進み、建築におけるリフォームと水廻りについては、切り離して考えられないものとなっています。そうした現状の中、建築工事全般を請け負っておられる企業の下請けとして業務をこなすのではなく、その建物・そこにある生活・そこで生活する人のためにできる「西村工業株式会社」の仕事をする。そして、その仕事に従業員が誇りを持てる、そのことが会社の基本理念です。

《組合にひと言》先代の頃からですので、組合とはとても長い付き合いになります。そして、たくさんの新しい出会いがありました。これからもあるでしょう。私にとってこの出会いが組合を続けていく一番の意義です。(西村和真)

支部恒例いちご狩り / 久御山支部

久御山支部恒例の「いちご狩り」に行ってきました。連休初日の4月29日(昭和の日)午前10時30分、精華町の「川西観光苺園」に集合。前日の雨がうそのように晴れわたった気持ちの良い日になりました。大人・子ども・幼児を合わせて40人が参加し、ピニールハウスの中を行ったり来たり、甘～い苺を口一杯ほおばり、あまりにも良いお天気だったため少し暑くなり、外に出て、また食べて…。苺で満腹。苺園のおばあちゃんにから甘い苺の見分け方を教えてもらい、「おなか一杯」と言いながら、またハウスの中を探索。苺の食べ比べもするなど、思いっきり楽しみました。また、苺の後は、別腹とばかりにバーベキューでお昼ごはん。しっかり食べて、ゴールデンウィークの始まりにふさわしい楽しい一日を過ごしました。(馬場志保子)



本社一南区久世高田町35-3 全京都建設協同組合指定店

24時間年中無休 ☎ 0120-30-8343
やさしき

ご遺族の心になってご奉仕！ ☆ご葬儀祭壇料金より20%割引(155,400円の規格もご用意しております)

葬儀会館 洛王東山会館(東山区)・洛王びわこ大橋会館(大津市)・洛王城陽会館(城陽市)・
洛王セレモニーホールふかくさ(伏見区)・洛王セレモニーホール桂(南区)・
洛王セレモニーホールらくさい(西京区)・洛王セレモニーホール亀岡(亀岡市)・
洛王セレモニーホールさかもと(大津市)・洛王セレモニーホール宇治(宇治市)・
洛王長岡京ホール(長岡京市)・洛王伏見桃山ホール(伏見区)

家族葬専用

洛王高槻ホール(高槻市)・三密殿(大津市) その他地域にも提携会館があります。



業界Topics

建設機械の盗難にご注意 / リース事業

建設機械（以下「建機」）の盗難事件が増加しています。日本建設機械工業会（以下「建機工」）によれば、建機工が建機盗難件数の統計を開始した1996年度年は265件でしたが、その後盗難件数は増加し、2001年度には1,511件と最高を記録。1998～99年には、ATMが盗難建機を使ったATM機器の破壊による現金盗難事件が増加したため、警察庁は2002年11月、建設業やリース業などの関係15団体に対し、建機の盗難対策を要請しました。その結果、2010年12月末には349台となり、近年は減少しています。

建機メーカーの対応

建機メーカー各社は、エンジン始動に暗証番号の入力が必要な「テンキー」、ICタグによる照合を行う「イモビライザキー」、コピーキーでのエンジン始動をできなくしたり、指定地域・時間・曜日以外の建機始動を不能にするなどの防止対策を開発してきました。中でも特に効果のある衛星利用測位システム「GPS」の導入があります。

効果を上げるGPS

2001年、位置情報をパソコンや携帯電話で確認できる「GPS搭載システム」をコマツが日本で初めて建機への標準装備を行いました。現在、ほとんどのメーカーの建機にはGPSが搭載されています。2009年5月、兵庫県明石市で発生した建機盗難事件では、建機を積載した車両が同県加古川市まで運搬されました。しかし、警備会社が盗難建機を発見し、その日のうちに回収することができました。

増える部品の盗難

今なお建機の盗難被害が発生する要因に、日本製の建機が中国や東南アジアの中古建機市場において高値で取引されている現実があります。

建機工によれば、建機本体の盗難は減少傾向にあるなか、部品の盗難が増加しているとのこと。油圧ポンプなどの油圧ショベルの部品、基幹部品、アクセルを制御するガバナコントロールなどキーコンポーネントです。部品の場合、維持管理を容易にするために取り外しが容易な場所にとり付けてあるため短時間で盗難が可能であり、部品を盗難されてもGPSでの発見が困難なことがあげられます。

盗難予防策

建機は部品の盗難被害を防止するために、バリケード設置など物理的な対策に加え、パワーショベルなどの場合はアームを進行方向に対して直角に曲げて置くだけでも盗難されにくくなるそうです。

東日本大震災の復旧工事とともに建設機械のニーズが急増しています。中古建機市場でも徐々に価格への影響も出始めています。建機リースのお問合せは、

建設協組 洛西センター Tel.075-392-0722 まで。

各建機リース会社と提携し、組合員の皆さまのご用命にお応えしております。

(北川常男)

住み手に何を伝えるか 日本縦断・頂上セミナー

過去3年にわたり耐震診断のトップランナー「既存建物耐震補強研究会」、長期優良住宅先導事業6システムに採用された実績の「町の工務店ネット」、ローテクとハイテク技術を見事に組み合わせた「EMO」、これら3つのトップグループによる合同プロジェクト「日本縦断・頂上セミナー」に参加してきました。

「既存建物耐震補強研究会」からは、地震に対する建築主の不安に応えるため、「耐震診断」からさらに一歩踏み込んだ「構造調査」の報告がありました。実際の改修に

おいては、耐震補強に優先して、劣化対策を行うことが重要なこと。また、その地域の災害史や、地名の由来を調べることも大切だという報告がありました。

「町の工務店ネット」からは、今回の震災は津波震災であると同時に原発震災であり、その被害を受けた地方は原発を容認しないだろうと言及がありました。「原発はCO₂を出さないクリーンエネルギー」など、国と電力会社は「原発120基構想」まで打ち出し、電力の需要の増大をはかるため「オール電化住宅」を推進してきました。エネルギーの種類が石油から原発へと変わったものの、今回の原発震災が、エネルギー多消費文明の終焉を意味し、パッシブで低エネルギーな建築を目指す新しい時代の幕開けであるとも指摘されました。

「地震が起こる前に早く！」をスローガンに、「耐震改修大勉強会in神戸」が1月17日に開催されました。それから2カ月もたたない3月11日、原発事故を伴う東日本大震災が起きました。世界の地殻エネルギーの10分の1が集まる列島の上に家を建て、そこで暮らしているという現実のなか、私たちは住み手に何を伝えればいいのか、そのことが見えてきたように思います。

折しも、お客様から自宅建て替えのご相談がありました。その方は「次は、地中熱を利用した家に住んでみたい」とおっしゃっていました。 (山本敬三)

「全青中」短信

全国総会を京都で開催！

今回は全国中小企業青年中央会の全国総会について触れてみたいと思います。

平成23年6月17日(金)、京都ホテルオークラに全国の仲間が集います。今年、30周年を迎える京都青年中央会ですが、京都での全国総会を開催すること、京都から全国会長を輩出することも実は始めてです。私にとっては本当にありがたいことで、昼夜問わず会議を重ね「京都らしいおもてなしを…」と京都のメンバーも頑張っていたいています。

当初500人程度の参加を見込んでいましたが、この度の震災において東北、関東方面からの参加者が減ることが予想されます。しかし東北のメンバーはもちろん、今回の総会では全国のメンバーが「夢と希望」を持ち、今まで以上に元気な日本国になるための総会、さらに一日も早い復興を目指した全国総会にしたいと思います。

皆さん、「全国総会って何するの？」って思われていませんか。総会は通常、事業や予算に関する論議に終始しますが、全青中ではその総会后、全国代表者(会長)会議が行われ、47都道府県の代表者(会長)と共に各都道府県の事例発表を行い、ディスカッションなどを通じた情報交換の場でもあります。設えはさまざまですが、今回のテーマは「有事対応について」。今後起こりうる有事に対しての支援体制のガイドラインを再検討し生かしていけたらと思っています。

もう一つのテーマがあります。今回の代表者会議では皆さんの「夢」について語り合い、今後の人生において夢や希望を持っていただければと思っています。皆さん、「あなたの夢は？」と聞かれて、即座に出てきますか？子どもたちなら、プロ野球選手や学校の先生など、すぐに答えが出てきますが、私たち青年、壮年に「夢」と問われても、その先が見えてくるが故になかなか出てこないのが実際ではないでしょうか。

全青中は会員主導のいわゆる「自立」の精神を持って、私たちの想いや行動で今後の日本を変えて行くことが大事だと考えています。

最後に、「国(組合)が自分に何をしてくれるかではなく、自分が国(組合)に何ができるかを問おう」全ては自分発信のもとで活路を見出し、勇気ある一步を踏み出し、私たちの手で笑顔溢れる家庭、社会をつくりましょう！

(全国中小企業青年中央会会長 堀井聖介)



役立つNews

法律Q & A

債権の差押

Q 取引先の業者（A社）に対する売掛金30万円がありますが、支払ってくれません。A社にめぼしい財産はありませんが、先日、A社は別の業者が請け負った住宅の工事現場で下請業者になっていることが分かりました。この工事現場の下請代金から返してもらう方法はないでしょうか？

A A社が元請業者に対して持っている下請代金債権を差押することが考えられます。その前提として差押をできる状態にする必要があります。

今回の場合、裁判所の「支払督促」の手続を使うか、簡易裁判所に「少額訴訟」を提起する方法が考えられます。支払督促の場合、相手方に送達された後、2週間以内に異議が出なければ、それから30日以内に「仮執行宣言」の申立をでき、裁判所から仮執行宣言が付されると強制執行ができます。少額訴訟は、原則1回の審理で終了する訴訟で、債権額が60万円以下の場合にのみ利用できます。判決が出たり、A社が和解の条件を破った場合は強制執行ができます。

強制執行では、元請業者が誰なのか、よく確認してから手続を行う必要があります。差押の手続を独力で行うのは難しいと思いますので、弁護士にご相談ください。

（京都第一法律事務所 弁護士 渡辺輝人）

葬祭マメ知識 / 弔辞

「弔辞」は遺族からの依頼があって式中に読むものですが、依頼がなくても、どうしても故人を偲んで弔辞を述べたいときは、なるべく早く遺族に申し出て了解を得ます。

弔辞の書き方 和紙に毛筆で書き、末尾に年月日と氏名を記し、文章は表を中にして書くか、扇子折にして和紙三ツ折の包紙に包み、表面には弔辞と記します。墨はやうすめを使います。

弔辞を読む 司式者の指示によって霊前に進み、喪主・近親者に一礼のあと祭壇に向かって一礼して、弔辞の包みを開きます。読み終わったら元のように包んで祭壇の卓上に置いて一礼のあと、遺族などにも一礼して席に戻ります。読む時間は3分ぐらいが適当です。

（協力：公益社）



講習と試験Guide

各種技能講習 / 労基連

フォークリフト運転

日 程：[学科] 6月1日(水)・6月2日(木)

[実技] 第2班：6月14日(火)・6月15日(水)・6月16日(木)

会 場：京都市

受講料：28,500円、テキスト1,425円

アーク溶接

日 程：[学科] 6月24日(金)

[学科、実技] 6月25日(土)

会 場：京都市

受講料：一般13,000円、会員11,000円、テキスト1,050円

第一種衛生管理者受験準備講習

日 程：[学科] 6月6日(月)・6月7日(火)・6月8日(水)

会 場：京都市

受講料：会員12,000円、一般14,000円、テキスト6,510円

【問合せ・申込み】 (社)京都労働基準連合会 Tel.075-321-2731 (社)京都南労働基準協会 Tel.075-611-8286 (社)京都上労働基準協会講習事務所 Tel.075-463-2735 京都下労働基準協会講習事務所 Tel.075-561-5000

各講習会は、連合会のホームページ<http://www.kyoukiren.or.jp/>で確認できます。

作業主任者等各種講習 / 建災防

有機溶剤作業主任者

日 程：6月7日(火)・8日(水)

会 場：京都府中小企業会館

受講料：10,700円

木造建築物の組立て等作業主任者

日 程：6月15日(水)・16日(木)

会 場：京都建設会館

受講料：10,500円

熱中症予防指導員研修

日 程：6月17日(金)

会 場：京都府中小企業会館

受講料：6,500円

職長・安全衛生責任者教育

日 程：6月21日(火)・22日(水)

会 場：京都建設会館

受講料：15,000円

職長のためのリスクアセスメント教育

日 程：6月22日(水)

会 場：京都建設会館

受講料：8,000円

高所作業車運転特別教育

日 程：6月28日(火)

会 場：スカイワーク京都 (伏見)

受講料：13,300円

【問合せ・申込み】建設業労働災害防止協会 京都府支部 〒604-0944 京都市中京区押小路通柳馬場東入 京都建設会館別館内 Tel.075-231-6587 Fax.075-251-0058

受付時間：午前9時～午後5時

ホームページから講習予定、申込書が取り出せます。

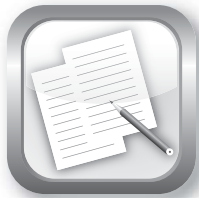
<http://homepage2.nifty.com/KYO-KENSAI/>

新加入組合員紹介

名称：丸岡組

住所：京都府八幡市八幡三反長38-1 / Tel.075-981-2377 / Fax.075-982-2236

/ 業種：土木工事業、建築工事業、とび土工事業 / 紹介者：(株)尾形電気工事



理事会Report

4月定例理事会は、4月25日(月)午後7時から京都工業会館で、理事12人の出席で開催されました。

1. 2011年度通常総会について

議案

- ・2010年度事業報告(案) ・2010年度決算(案) ・2010年度会計監査報告
- ・2011年度事業計画(案) ・2011年度予算(案) ・補欠役員選出(案)
- ・定款改定(案) ・役員報酬限度額

本通知について 講師プロフィールについて 従業員表彰について

増資のお願いについて 東日本大震災の義援金のお願いについて

当日の役割分担について 来賓案内先について

総会出席支部別目標について 事前質問書について

2. 会計監査について

3. 新組合員加入審議について

4. 暫定予算について

5. 増資(借入)の現状について

6. その他



組合Diary

本部

5 / 2 編集会議

5 / 11 法律相談

5 / 16 通常総会

支部

各支部総会 別記

5 / 10 洛中(役)

5 / 12 右京(役)

5 / 20 新京(役)

編集後記

数年前、ファミレスで食事をしていた時のこと。隣のテーブルに年頃の娘さん3人と若いご両親とおばあちゃんが座られた。なんだかとても微笑ましく目に映り、羨望の気持ちが沸いてきた。ところが末娘さんが、夕食のはずなのにパフェを食べながら携帯をしている。おやっと思っていると、お父さんがその携帯を取り上げて投げ捨てたので、ガシャンという音とともに末娘さんが下を向いて泣き出された。上の娘さん二人は知らん顔、おばあちゃんはオロオロ、お母さんは、「また携帯を買わないと...」と。帰りは黒のワンボックスカー。私はポンコツ車に乗りながら、あのおばあちゃんが末娘さんの肩に手をかけられていた光景が忘れられなくて...。若気の至りと思っても「ほら、目の前にお父さんが、ほら、おばあちゃんが居てるじゃないの」なんて、訳の分からないことを呟いていた。もうすぐ父の日。きっとあの末娘さんも感謝いっぱい有り難うを贈られるに違いない。私も、天まで届くように、全てのお父さんたちが、いっぴいの薔薇の花で満たされるようにと祈りたい。(岡)

全京都建設協同組合 メールアドレス一覧

川久保理事長	kawakubo@zenkyoto.jp
管理部	z-kanri@cocoa.ocn.ne.jp
設計室	sekkei@zenkyoto.jp
工事課・住宅設計課	z-koji@mocha.ocn.ne.jp
洛西センター	z-raksai@alto.ocn.ne.jp
洛南事務所	z-raknan@mocha.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.zenkyoto.jp/>

心をつなぐお手伝い

私たちはお客様の事業と運動に貢献する、パートナーでありたいと願っています。

印刷媒体、映像媒体、電子メディアの企画・制作、
イベント企画、DTP指導サービスの提供

株式会社 きかんしコム

〒601-8205 京都市南区久世殿城町330-1 TEL.075-935-1115(代) FAX.075-935-5100
E-mail: com@mediapark.co.jp <http://www.mediapark.co.jp>